

第2次小樽市健康増進計画「第2次健康おたる21」

平成29年度事業評価及び平成30年度事業計画

平成30年6月

小樽市保健所

目 次

1	地域連携によるがん検診の普及啓発推進	3
2	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発推進	7
3	血圧自己測定推進	9
4	ウォーキングの推進	12
5	おいしい空気の施設推進	15
6	禁煙宣言プロジェクト推進	17
7	ヘルシーメニュー事業	19
8	毎日朝食をとる、家族の誰かと一緒に朝食をとる	21
9	栄養成分表示の店推進	23
10	食事バランスガイド活用の推進	24
11	悩みの相談窓口の周知啓発推進	26
12	麻しんワクチン接種の推進	29
13	効果的な歯磨きの普及	31
14	歯周病セルフチェックの普及	33
15	むし歯のない3歳児を増やす	34
16	思春期の健康教育推進	36
17	第2次健康おたる21普及・啓発	38
18	前期計画策定シート	40

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	がん・循環器疾患・糖尿病領域
事業名	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業
事業費	健康診査事業費（各種がん検診）
Plan 活動計画 (目的、目標)	<p>1 医療機関連携によるがん検診の啓発と連携方法の検討 目的：がん検診受診率増加のために医療連携の必要性や方法について検討し、対策につなげる。 目標：具体的な連携方法について検討できる。</p> <p>2 職域連携によるがん検診の周知・啓発 目的：働く世代のがん予防として、がん検診の必要性を周知・啓発する。 目標：働く世代の団体と連携し、がん検診の周知・啓発を行う。</p> <p>3 各団体・関係機関との連携 目的：各団体の主催するイベントに参加することにより、多くの人が集まる場所で周知、検診、健康相談を行い、市民の健康管理の動機づけとする。 目標：スポーツフェスティバル参加者・来場者の 40 名程度が肺がん検診を受診できる。</p> <p>4 健康教育による受診勧奨 目的：健康教育により、がん健診の必要性について周知・啓発を行う。 目標：ピンクリボンファミリーイベントで、がん検診の普及啓発を行うことができる。(参加数：100 名)</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 医療機関連携によるがん検診の啓発と連携方法の検討 がん検診の受診率向上に向け、受託医療機関へポスター掲示を依頼 がん検診啓発を医師会・歯科医師会・薬剤師会に依頼</p> <p>2 職域連携によるがん検診の周知・啓発 働く世代への団体へのがん及びがん検診の周知・啓発を実施</p> <p>3 各団体・関係機関との連携 街頭検診協力機関にポスター掲示を依頼 国保年金課に依頼し、がん検診啓発チラシを国保新規加入者に配布 子育ての事業において、女性のがん検診の周知啓発を行う。 市内関係機関にがん検診啓発チラシの設置を依頼 8・9月 坂の街出版 wa-o! に記事を掲載予定 9/10 スポーツフェスティバルにおける健康相談・肺がん検診 10月 FM おたる がん検診について</p> <p>4 健康教育による受診勧奨 ・ピンクリボンイベント（5月・10月） ステージにおける健康教育、健康相談、模型による自己触診体験 ・その他健康教育 がん関係を実施する。</p>

<p>Check</p> <p>モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング：計画どおり推進することができている。</p> <p>評価指標： がんの75歳未満の年齢調整死亡率が減少する。（現状値（H23年度）：98.6） がん検診受診率が増加する。</p> <p>〔現状値（H23年度）男性：胃～20.3%、肺～27.4%、大腸～24.3% 女性：胃～23.3%、肺28.3%、大腸～24.2%、子宮～26.1%、乳～29.0%〕</p> <p>評価： 【評価の視点】</p> <p>1 医療機関連携による受診勧奨の方策について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診市内委託医療機関において、各医療機関で受診可能ながん検診のポスター掲示の協力を得た。（49か所） ・がん検診市内委託医療機関の協力の下、女性のがん検診医療機関情報のチラシを作成した。（配布数：807枚） ・医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力の下、チラシによるがん検診の周知を実施した。（配布数：775枚） ・市内医療機関主催の健康イベントにて、健康教育の実施及びチラシ配布の協力を得た。（健康教育1回・チラシ配布枚数260枚） <ul style="list-style-type: none"> ＊ふれあい健康教室（協会病院主催）、小樽市立病院まつり <p>今後もあらゆる機会を通じて連携した取組みを検討、実践していく。</p> <p>2 職域連携によるがん検診の周知・啓発</p> <p>市内職業組合や協会へ、チラシの配布の協力を依頼（21団体）</p> <p>3 各団体との連携について</p> <p>保健師2名で実施した。</p> <p>【チラシ・ポスターの配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭検診31か所、地域のけんしん16か所の会場においてポスターを掲示した。 ・国保新規加入者に対するがん検診啓発チラシを配布した。（1034枚） ・がん征圧月間（9月）～子育て支援SG事業及びイベントにおいてチラシを配布（1,166枚） ・女性の健康週間（3月）～1.6健、3健及び栄養関係の事業において女性のがん検診チラシを配布（807枚） ・市内にある大学、専門学校等8か所へ子宮頸がんポスターの掲示及びチラシの設置協力を得た。 <ul style="list-style-type: none"> ・市関係施設8か所へチラシの設置を依頼（400枚） ・精神保健事業周知イベントに併せた、がん検診チラシの配布（2,000枚） <p>【スポーツフェスティバル】主催：NPO法人小樽体育協会 北海道対がん協会に委託し肺がん検診を実施。受診者数：30名</p> <p>【wa-o!への記事掲載】発行元：坂の街出版 8・9月号に女性のがん検診に関する記事を掲載した。</p>
-----------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>【FM おたる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月2日 がん予防とがん検診 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたる健康づくり通信の発行（H29.10、12・H30.2） ・広報おたる「受けようがん検診」記事掲載（H29.6） <p>あらゆる機会を通じて、啓発の取組みを実施することができた。今後も継続していく。</p> <p>4 健康教育による受診勧奨</p> <p>ピンクリボンファミリーのイベントに参加し、乳がん模型の触診体験を実施した。ウイングベイでの開催は、場所も良く、通行人が興味をもって触診体験をしていた。参加者からはがん検診の受け方に関する質問もあり、がん検診の動機づけになったと判断される。また、子育て世代や若い世代も多く適切な世代に啓発ができた。</p> <p>参加者数：81名（5/14～36名、10/15～45名）目標達成率は81.0%であった。</p> <p><追加の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診クーポン発送時に、がん検診啓発のチラシを同封 ・未受診者対策として、45～63歳男性に個別勧奨チラシの送付（1,136名）し、未受診者へ電話勧奨（996名）を行った。 ・子宮頸がんクーポン未利用者への個別勧奨チラシを送付した。（415名）
Act 改善	<p>1 医療機関連携による受診勧奨の方策について検討</p> <p>がん検診を委託している医療機関などとの連携は重要であり、今後も協力を得ながら実施を継続していく。</p> <p>2 職域連携によるがん検診の周知・啓発</p> <p>職域におけるがん検診の啓発と受診率が増加することは重要であり、方法を検討しながら今後も取組を継続することが必要である。</p> <p>3 各団体との連携について</p> <p>各団体と連携することにより、様々な対象に周知・啓発することが可能となるため、今後も継続していく。また、がん体験者による、がん検診啓発のため、がん検診普及ボランティアについて検討していく。</p> <p>4 健康教育による受診勧奨</p> <p>イベントを活用した健康教育は世代の偏りもなく、多くの方に興味を持ってもらうことに効果的であり、今後も継続していく。平成30年度より、子宮頸がん検診の受診の啓発として、子宮頸がん自己検査受診事業を実施する。</p>

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	がん・循環器疾患・糖尿病領域
事業名	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業
事業費	健康診査事業費（各種がん検診）
Plan 活動計画 (目的、目標)	<p>1 医療機関連携によるがん検診の啓発と連携方法の検討 目的：がん検診受診率増加のために医療連携の必要性や方法について検討し、対策につなげる。 目標：具体的な連携方法について検討できる。</p> <p>2 職域連携によるがん検診の周知・啓発 目的：働く世代のがん予防として、がん検診の必要性を周知・啓発する。 目標：働く世代の団体と連携し、がん検診の周知・啓発を行う。</p> <p>3 各団体・関係機関との連携 目的：各団体の主催するイベントに参加することにより、多くの人が集まる場所で周知、検診、健康相談を行い、市民の健康管理の動機づけとする。 目標：スポーツフェスティバル参加者・来場者の 40 名程度が肺がん検診を受診できる。</p> <p>4 健康教育等による受診勧奨 目的：健康教育等により、がん健診の必要性について周知・啓発を行う。 目標：ピンクリボンファミリーイベントで、がん検診の普及啓発を行うことができる。(参加数：100 名)</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 医療機関連携によるがん検診の啓発と連携方法の検討 がん検診の受診率向上に向け、受託医療機関へポスター掲示を依頼。 がん検診啓発を医師会・歯科医師会・薬剤師会に依頼</p> <p>2 職域連携によるがん検診の周知・啓発 働く世代の団体へのがん及びがん検診の周知・啓発を実施する</p> <p>3 各団体・関係機関との連携 街頭検診協力機関にポスター掲示を依頼 国保年金課に依頼し、がん検診啓発チラシを国保新規加入者に配布する。 子育ての事業において女性のがん検診の周知・啓発を行う。 市内関係機関にがん検診啓発チラシの設置依頼 偶数月に、おたる健康づくり通信を発行 がん検診普及ボランティアについて検討 8・9月号 坂の街出版 wa-o! に記事を掲載予定 9/9 スポーツフェスティバルにおける健康相談・肺がん検診 10月 FM おたる がん対策について</p> <p>4 健康教育による受診勧奨 ・ピンクリボン (5月・10月)</p>

	<p>ステージにおける健康教育、健康相談、模型における自己触診体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診（胃内視鏡検査）対象者に個別通知により受診勧奨を行う。 ・子宮頸がん自己検査受診事業の実施
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 木村 理永 ）

施 策	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進
事業名	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進事業
事業費	健康診査事業費（特定保健指導、特定健康相談）
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討 目的：特定健診受診率増加のために保険者連携し、対策を検討する。 目標：国保担当者と相談し、受診率向上の取組を検討する。</p> <p>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上 目的：市民に身近な場所での健診機会を増やし、市民が健診を受けやすい体制整備をする。 目標：がん検診と特定健診を同時に受診する市民の増加。</p> <p>3 特定保健指導実施率の向上 目的：市民が受けやすいプログラムの内容を検討する。 目標：特定保健指導実施率が増加する。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討 国保担当者と打合せを行い、受診率向上の取組について検討する。</p> <p>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上 地域のけんしんで、がん検診・特定健診を同時に開催する。</p> <p>3 特定保健指導実施率の向上 家庭訪問における保健指導を実施する。 対象者で申し込みのない方へ電話勧奨及び訪問勧奨を行う。</p>
Check モニタリング 評価	<p>モニタリング：</p> <p>計画に基づいた実施ができている。特定保健指導の利用率には伸びはみられず、市民ニーズに合致していない、または市民の健康管理の意識への働きかけが不十分である可能性が考えられる。</p> <p>評価：</p> <p>脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少（現在値（H23 年度）男性 50.0%女性 21.3%） 虚血性心疾患の年齢調整死亡率を増加させない（現在値（H23 年度）男性 21.5 女性 7.5） 糖尿病の年齢調整死亡率を増加させない（現在値（H23 年度）男性 9.6 女性 2.1） 20～60 歳代男性の肥満している割合の減少（現在値（H23 年度）31.4%）</p>

【評価の視点】

1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討

①国保年金課、健康増進課で特定健診当日に初回面接を行うことについて検討した。

②けんしんカレンダーを作成した。

2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上

協力機関：対がん協会 担当課：保健総務課

地域のけんしんを、銭函市民センターで実施し、昨年度より受診数は増加した。

(10/1 (日))

受診数 (地域のけんしん 銭函市民センター) H30.3.31 現在

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
受診数	35 名	15 名	24 名	28 名

3 特定保健指導実施率の向上

特定保健指導の案内チラシの内容を変更し参加者特典を目立たせた。

家庭訪問における保健指導の利用者：11 人（前年度 1 人より増加）

未利用者への電話勧奨数 352 人のうち、特定保健指導参加 25 人

（前年度：電話勧奨数 299 人のうち、特定保健指導参加 16 人）

未利用者への訪問勧奨数 39 人のうち、特定保健指導参加 7 人

チラシ内容の変更や未利用者への電話・訪問勧奨を実施したが、利用者は減少傾向である。家庭訪問における保健指導についても利用者は減少傾向であるが、利用者のニーズがあるため今後も継続する。

【特定保健指導実施率（確定値）】（平成 30 年 3 月 31 日現在）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象者	484	480	466	451
利用者 (実施率)	60 (12.4%)	79 (16.5%)	69 (14.8%)	53 (11.8%)

Act
改善

1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討

今後も情報の共有を図りながら、受診率の向上に向けて検討を継続する。

2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上

今後も継続して実施する。

3 特定保健指導実施率の向上

チラシ配布や対象者全員に電話勧奨をしているが、特定保健指導実施率は低下している。これまでの勧奨を継続しながら、保険者や関係機関と連携し、実施率の向上に努めていく。

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進
事業名	地域連携による特定健診・特定保健指導の普及啓発推進事業
事業費	健康診査事業費（特定保健指導、特定健康相談）
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討 目的：特定健診受診率増加のために保険者連携し、対策を検討する。 目標：国保担当者と相談し、受診率向上の取組を検討する。</p> <p>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上 目的：市民に身近な場所での健診機会を増やし、市民が健診を受けやすい体制整備をする。 目標：がん検診と特定健診を同時に受診する市民の増加。</p> <p>3 特定保健指導実施率の向上 目的：市民が受けやすいプログラムの内容を検討する。 目標：特定保健指導実施率が増加する。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 保険者との連携による特定健診受診勧奨の方策について検討 国保担当者と打合せを行い、受診率向上の取組について検討する。</p> <p>2 町内会館等でのがん検診との同時実施による受診率向上 地域のけんしんで、がん検診・特定健診を同時に開催する。</p> <p>3 特定保健指導実施率の向上 家庭訪問における保健指導を実施する。 対象者で申し込みのない方へ電話勧奨及び訪問勧奨を行う。 健診当日の保健指導の実施について検討する。</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	血圧自己測定推進
事業名	血圧自己測定推進事業
事業費	健康教育事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>1 市民への健康教育の実施 目的：市民が血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことができる。 目標：地域保健 SG の健康教育において実施するアンケートで、自宅で血圧を測定している方及びこれから測定すると答える方が増加する。</p> <p>2 健康相談、健康教育、各種イベント等における啓発リーフレットの配布</p>

	<p>目的：血圧自己測定の必要性について広く周知啓発することで、体調管理に取り組むきっかけづくりとする。</p> <p>目標：健康相談、健康教育、各種イベントにおいて血圧自己測定チラシを配布する。(1000部)</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談における周知・勧奨</p> <p>目的：特定保健指導、特定健康相談対象者が、血圧測定正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことで、将来の生活習慣病を予防する。</p> <p>目標：特定保健指導及び特定健康相談対象者全員へチラシにて周知する。 特定保健指導及び特定健康相談実施者全員へ口頭で勧奨する。</p>																									
<p>Do 実践 (対象、方法、 時期など)</p>	<p>1 市民への健康教育の実施 生活習慣病に関する健康教育の際に、血圧自己測定について対象者に説明する。</p> <p>2 健康相談、健康教育、各種イベント等における啓発リーフレットの配布 健康相談、他 SG の健康教育、各種イベント等において啓発リーフレットを配布する。</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談における周知・勧奨 特定健康相談の案内発送時に、チラシを同封する。 特定保健指導、特定健康相談の実施時に、自宅での血圧自己測定を勧奨する。</p>																									
<p>Check モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング：計画に基づき、啓発を実施することができた。健康教育、健康相談を活用することで、興味のある対象に対し、自己血圧測定について啓発することができていると判断する。</p> <p>評価指標：自宅などで血圧測定する 40 歳代の増加（現在値（H23 年度）：21.1%）</p> <p>1 市民への健康教育の実施 生活習慣病に関する健康教育で血圧自己測定について説明～10回 217人アンケートでは血圧自己測定について、「測定している」方は平成 28 年度よりは低く 44.9%であった。「これから測る」と回答した方は 32.9%となった。「測定している」方の割合が低くなった要因としては、アンケート回答者の平均年齢が低かったことが考えられる。今後も健康教育で血圧自己測定の必要性について啓発していくが、若い世代には特に生活習慣病対策として、血圧自己測定の重要性について伝えていくことが必要と考える。</p> <table border="1" data-bbox="379 1592 1420 2022"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定している</td> <td>79 名 (56.4%)</td> <td>55 名 (52.9%)</td> <td>84 名 (74.3%)</td> <td>105 名 (44.9%)</td> </tr> <tr> <td>これから測る</td> <td>42 名 (30.0%)</td> <td>35 名 (33.7%)</td> <td>21 名 (18.6%)</td> <td>77 名 (32.9%)</td> </tr> <tr> <td>測らない</td> <td>19 名 (13.6%)</td> <td>14 名 (13.5%)</td> <td>8 名 (7.1%)</td> <td>52 名 (22.2%)</td> </tr> <tr> <td>計 (平均年齢)</td> <td>140 名 (68.6 歳)</td> <td>104 名 (65.9 歳)</td> <td>113 名 (75.8 歳)</td> <td>234 名 (62.0 歳)</td> </tr> </tbody> </table>		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	測定している	79 名 (56.4%)	55 名 (52.9%)	84 名 (74.3%)	105 名 (44.9%)	これから測る	42 名 (30.0%)	35 名 (33.7%)	21 名 (18.6%)	77 名 (32.9%)	測らない	19 名 (13.6%)	14 名 (13.5%)	8 名 (7.1%)	52 名 (22.2%)	計 (平均年齢)	140 名 (68.6 歳)	104 名 (65.9 歳)	113 名 (75.8 歳)	234 名 (62.0 歳)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度																						
測定している	79 名 (56.4%)	55 名 (52.9%)	84 名 (74.3%)	105 名 (44.9%)																						
これから測る	42 名 (30.0%)	35 名 (33.7%)	21 名 (18.6%)	77 名 (32.9%)																						
測らない	19 名 (13.6%)	14 名 (13.5%)	8 名 (7.1%)	52 名 (22.2%)																						
計 (平均年齢)	140 名 (68.6 歳)	104 名 (65.9 歳)	113 名 (75.8 歳)	234 名 (62.0 歳)																						

	<p>2 健康相談、健康教育や各種イベント等における啓発リーフレットの配布 啓発リーフレットを配布：2,457名 内訳：地域保健 SG 健康教育～9回 237名 各種イベント～392名 (5/14・10/15 ピンクリボンファミリー、9/14 食生活展、9/11 スポーツフェスティバル) その他～1,136名 下記3での配布～692名</p> <p>健康教育や協力団体と連携した各種イベント等を通じて、実施することができた。今後もあらゆる機会を通じてリーフレットの配布に取り組む。</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談で勧奨 特定保健指導参加：60名 特定健康相談対象者：200名 (特定健康相談参加：69名) 特定保健指導利用再勧奨等で配布：432名</p> <p>特定保健指導、特定健康相談の対象者や参加者にチラシによる啓発を実施し、今後も啓発を継続することとする。</p>
<p>Act 改善</p>	<p>1 市民への健康教育の実施 今後も継続して実施する。</p> <p>2 健康相談、健康教育や各種イベント等における啓発リーフレットの配布 広く啓発するために有効であり、今後も計画を継続する。 職域の健康教育では、リーフレットを使用し、血圧自己測定の必要性について説明する。</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談で勧奨 今後も継続して実施する。</p>

【平成30年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

<p>施策</p>	<p>血圧自己測定推進</p>
<p>事業名</p>	<p>血圧自己測定推進事業</p>
<p>事業費</p>	<p>健康教育事業費</p>
<p>Plan 活動計画 (目的 目標)</p>	<p>【平成30年度実施計画】</p> <p>1 市民への健康教育の実施 目的：市民が血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことができる。 目標：地域保健 SG の健康教育において実施するアンケートで、自宅で血圧を測定している方及びこれから測定すると答える方が増加する。</p> <p>2 健康相談、健康教育、各種イベント等における啓発リーフレットの配布 目的：血圧自己測定の必要性について広く周知啓発することで、体調管理に取</p>

	<p>組むきっかけづくりとする。</p> <p>目標：健康相談、健康教育、各種イベントにおいて血圧自己測定チラシを配布する。(1000部)</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談における周知・勧奨</p> <p>目的：特定保健指導、特定健康相談対象者が、血圧測定の正しい知識を得られ、自身の健康管理について主体的に取り組むことで、将来の生活習慣病を予防する。</p> <p>目標：特定保健指導及び特定健康相談対象者全員へチラシにて周知する。 特定保健指導及び特定健康相談実施者全員へ口頭で勧奨する。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>【平成 30 年度実施計画】</p> <p>1 市民への健康教育の実施</p> <p>生活習慣病に関する健康教育の際に、血圧自己測定について対象者に説明する。職域の健康教育では、リーフレットを使用し、血圧自己測定の必要性について説明する。</p> <p>2 健康相談、健康教育、各種イベント等における啓発リーフレットの配布</p> <p>健康相談、他 SG の健康教育、各種イベント等において啓発リーフレットを配布する。</p> <p>3 特定保健指導、特定健康相談における周知・勧奨</p> <p>特定健康相談の案内発送時に、チラシを同封する。 特定保健指導、特定健康相談の実施時に、自宅での血圧自己測定を勧奨する。</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	ウォーキングの推進
事業名	小樽健康づくりウォーキング推進事業
事業費	小樽健康づくりウォーキング推進事業費
Plan 活動計画 (目的・目標)	<p>1 ウォーキングサポーターを養成し、サポーターによる市民への健康教育を実施する。</p> <p>目的：①ウォーキング及びノルディックウォーキングを普及する人材となるウォーキングサポーター（以下、サポーターとする）を養成する。 ②ウォーキングに対する正しい知識をもつ市民の増加及び定期的なウォーキング習慣を持つ市民の増加を目指す。</p> <p>目標：①サポーターを 20 名養成する。 ②健康教育に延べ 2,000 人の市民が参加する。</p>

	<p>2 職域連携による普及啓発</p> <p>目的：働く世代から定期的な運動習慣の必要性について、ウォーキングを通じた普及啓発を図る。</p> <p>目標：健康教育参加者数が増加する。(職域・ウォーキング関係)</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 ウォーキングサポーターを養成し、サポーターによる市民への健康教育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/6,13,20,27,11/10 の全5回(全て金曜日)に養成講座を開催 ・依頼のあった町内会、施設、企業、団体及び個人に対し、ウォーキングの普及啓発を行う。 ・サポーターによる市民への普及啓発を支援する。 <p>2 職域連携による普及啓発</p> <p>職域での健康教育実施時にあわせて、ウォーキングの普及啓発を図る。</p> <p>健康教育用アンケートにより、運動習慣について情報収集を行う。</p>
Check モニタリング 評価	<p>評価指標： 40～50歳代の運動習慣者の割合の増加(現状値(H23年度)：34.5%)</p> <p>モニタリング：計画に基づいた実施ができている。</p> <p>評価： 保健師2名で実施した。</p> <p>1 サポーター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成数：9名 ・サポーター総数：67名(平成30年3月31日現在) ・周知方法：広報おたるに募集記事を掲載した。 市内関係機関やウォーキングサポーターを通してチラシ、ポスターを配布 <p>サポーター養成数は、近年10名未満が続いており低迷している状況である。周知も含め、対象者の発掘などの検討が必要である。また、サポーターの高齢化等にもない辞退者がいるため、計画どおりに登録サポーターは増加していない。</p> <p>市民への健康教育の実施</p> <p>健康教育実施回数・参加人数(平成30年3月31日現在)</p> <p>実9回 延77回 実255名 延1256名</p> <p>参加延べ人数が昨年度より減少し、目標達成には至らなかった。しかし、実施延べ数は1000名以上で安定している。</p> <p>2 職域連携による普及啓発</p> <p>平成29年度は、職域への健康教育は申込がなく、実施しなかった。しかし、市内事業所経営者で、ウォーキングサポーターに認定された方がおり、そこで働く従業員への波及効果が想定される。職業組合や団体を通して事業者や管理者等へ健康教育の機会について周知していく必要がある。</p> <p>健康教育(職域)のアンケート結果(定期的に運動をしているか)</p> <p>定期的な運動をしていると回答した方は、25.8%と少ない状況であった。今後もアンケートをとり、現状把握に努めていく。</p>

		平成 29 年度	
	している	23 名 (25.8%)	
	していない	66 名 (74.2%)	
	計	89 名	
Act 改善	<p>1 サポーター養成講座 申込み人数が低迷しているため、周知の工夫について検討していきたい。</p> <p>市民への健康教育の実施 サポーターの活動により一定の成果が得られ、活動が定着してきているが、健康教育人数は減少し、サポーターの活動状況による参加数の変化やサポーターの高齢化の課題もある。今後も保健所として、健康教育の周知・啓発に力を入れ、サポーター支援を継続する。</p> <p>2 職域連携による普及啓発 健康教育の周知は引き続き継続する。</p>		

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	ウォーキングの推進
事業名	小樽健康づくりウォーキング推進事業
事業費	小樽健康づくりウォーキング推進事業費
Plan 活動計画 (目的・目標)	<p>1 ウォーキングサポーターを養成し、サポーターによる市民への健康教育を実施する。</p> <p>目的：①ウォーキング及びノルディックウォーキングを普及する人材となるウォーキングサポーター（以下、サポーターとする）を養成する。 ②ウォーキングに対する正しい知識をもつ市民の増加及び定期的なウォーキング習慣を持つ市民の増加を目指す。</p> <p>目標：①サポーターを 20 名養成する。 ②健康教育に延べ 2,000 人の市民が参加する。</p> <p>2 職域連携による普及啓発</p> <p>目的：働く世代から定期的な運動習慣の必要性について、ウォーキングを通じた普及啓発を図る。</p> <p>目標：健康教育参加者数が増加する。(職域・ウォーキング関係)</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>【平成 30 年度実施計画】</p> <p>1 ウォーキングサポーターを養成し、サポーターによる市民への健康教育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/1,8,15,22,29 の全 5 回（全て金曜日）に養成講座を開催する ・依頼のあった町内会、施設、企業、団体及び個人に対し、ウォーキングの普及啓発を行う。 ・サポーターによる市民への普及啓発を支援する。

	<p>・平成 31 年度の事業の方向性について、ウォーキングサポーターと協働して協議する。</p> <p>2 職域連携による普及啓発</p> <p>職域での健康教育実施時にあわせて、ウォーキングの普及啓発を図る。 健康教育用アンケートにより、運動習慣について情報収集を行う。</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	受動喫煙防止の推進
事業名	受動喫煙防止推進事業
事業費	健康教育事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>1 おいしい空気の施設推進事業</p> <p>目的：多数の者が利用する施設の管理者などに対し、禁煙・適切な分煙の措置を講ずるよう促すとともに、禁煙・適切な分煙を実施している施設を公表し、禁煙・分煙の社会的な認識の定着を図り、市民の健康づくりに資することを目的とする。</p> <p>目標：おいしい空気の施設が増加する。(目標 300 施設)</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p> <p>目的：多数の者が利用する施設において、受動喫煙による健康影響を防止するため、広く市民に対し、受動喫煙防止の重要性を周知する。</p> <p>目標：世界禁煙デーにあわせて、関係機関にポスターを 100 枚配布し、市内における受動喫煙防止の啓発を行うことができる。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>【平成 29 年度実施計画】</p> <p>1 おいしい空気の施設推進事業</p> <p>あらゆる機会を利用し、事業周知を実施する。(調剤薬局約 80 か所、幼稚園 14 か所へ再勧奨、介護施設約 80 か所、大学・専門学校、銀行へ勧奨)</p> <p>登録施設をホームページに公開する。</p> <p>おいしい空気の施設を市民が有効活用できるよう、チラシにより周知する。</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p> <p>世界禁煙デーにあわせ、ポスターを配布、FM おたるでの啓発を実施する。</p>

<p>Check</p> <p>モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング：取組は計画どおり実施することができた。</p> <p>評価指標：</p> <p>おいしい空気の施設登録件数の増加（現状値（H23年度）：65施設） 成人の喫煙率の減少（現状値（H23年度）：全体 19.1% 男性 25.2% 女性 15.4%）</p> <p>評価：</p> <p>【評価の視点】</p> <p>1 おいしい空気の施設推進事業</p> <p>保健師 1 名で実施。</p> <p>【世界禁煙デーに併せた周知】</p> <p>市内関係機関に配布：ポスター164 か所</p> <p>【年度内随時の周知】</p> <p>市内介護施設 65 か所、調剤薬局 60 か所、幼稚園 15 か所、司法事務所等会社関係 290 か所、市内組合・協議会等の団体 18 団体 480 か所、大学・専門学校 6 か所、銀行 6 か所、ホテル 10 か所、スーパー15 か所</p> <p>食品衛生 G～飲食店の登録など手続きの際に周知協力</p> <p>保健総務課（庶務・医薬 SG）～病院・診療所、薬局の開設・移転などの手続きの際に、周知協力</p> <p>自殺予防チラシを市内飲食店に送付時 290 か所</p> <p>【ホームページ以外での登録施設周知】</p> <p>チラシを 5,373 枚配布した。</p> <p>新規登録施設数：32 施設</p> <p>全登録施設数：172 施設（平成 30 年 3 月 31 日現在）</p> <p>啓発、登録業務は予定どおり実施することができた。周知により登録数の増加は見られているが、目標には達していない。今後も周知方法を工夫しながら継続していく。</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p> <p>保健師 1 名にて実施。</p> <p>市内関係機関 164 か所にポスターを送付し、目標を達成することができた。受動喫煙防止が市民に浸透していくためには、継続的な取組が必要と思われ、今後も取組を継続していくことが必要と判断する。</p>
<p>Act</p> <p>改善</p>	<p>1 おいしい空気の施設推進事業</p> <p>本事業の周知と登録の促進のためには、周知が必要であり、平成 30 年度も周知を行う。市民がおいしい空気の施設を活用できるよう、チラシによる情報提供についても継続していく。</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p> <p>ポスターを活用した周知を実施していく。</p>

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	受動喫煙防止の推進
事業名	受動喫煙防止推進事業
事業費	健康教育事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>1 おいしい空気の施設推進事業</p> <p>目的：多数の者が利用する施設の管理者などに対し、禁煙・適切な分煙の措置を講ずるよう促すとともに、禁煙・適切な分煙を実施している施設を公表し、禁煙・分煙の社会的な認識の定着を図り、市民の健康づくりに資することを目的とする。</p> <p>目標：おいしい空気の施設が増加する。</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p> <p>目的：多数の者が利用する施設において、受動喫煙による健康影響を防止するため、広く市民に対し、受動喫煙防止の重要性を周知する。</p> <p>目標：世界禁煙デーにあわせて、関係機関にポスターを 100 枚配布し、市内における受動喫煙防止の啓発を行うことができる。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>【平成 30 年度実施計画】</p> <p>1 おいしい空気の施設推進事業</p> <p>あらゆる機会を利用し、事業周知を実施する。 (医療機関 100 か所、保育所 28 か所、高等学校 8 か所)</p> <p>登録施設をホームページに公開する。</p> <p>おいしい空気の施設を市民が有効活用できるよう、チラシにより周知する。</p> <p>2 受動喫煙防止の環境づくり等の普及啓発</p> <p>世界禁煙デーにあわせ、ポスターを配布、FM おたるでの啓発を実施する。</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(中村 悦子)

施 策	(5) 禁煙の支援
事業名	禁煙宣言プロジェクト事業
事業費	健康相談事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>目的：禁煙を決意した人数をホームページで公表することにより、禁煙に対する関心を高め、禁煙開始する人の増加を図る。</p> <p>目標：禁煙宣言者の増加</p>

Do 実践 (対象、方法、 時期など)	【平成 29 年度実施】 禁煙宣言登録用紙を禁煙外来に配布し、禁煙外来受診者に書いていただき、病院から保健所へ FAX を送る。 配布時期は、5 月～6 月（禁煙週間 5 月 31 日～6 月 6 日のため）
Check モニタリング 評価	モニタリング：禁煙宣言者数を記録していく。 評価指標：禁煙宣言者数 評価： ①ストラクチャー：通年実施。禁煙宣言の送付を受け、月毎にホームページへ掲載する。登録用紙は、禁煙外来のみに配布し、配布枚数は各 30 枚ずつ 12 医療機関で、計 360 枚 ②プロセス：登録用紙を単純化し記入しやすくした。 ③アウトプット：登録用紙配布数は 360 枚で、昨年同様。 ④アウトカム：平成 29 年度の禁煙宣言者数は 46 名（平成 29 年度末）で、28 年度 53 名よりやや減少。
Act 改善	禁煙開始者の増加だけを目的とすれば、禁煙外来受診者数の把握だけで良いため、保健所が行う特色が必要ではないか。受動喫煙防止が拡大し喫煙しにくい環境になれば、禁煙開始者は増加すると思われるので、個人の禁煙支援としても、既存の媒体活用だけでなく、他の機関との連携なども実施検討する。

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 中村 悦子 ）

施 策	(5) 禁煙の支援
事業名	禁煙宣言プロジェクト事業
事業費	健康相談事業費
Plan 活動計画(目的 目標)	目的：喫煙率の減少 目標：禁煙宣言者の増加
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	対象：禁煙を決意した人（禁煙外来受診者）と禁煙したい人（市民） 方法：禁煙外来へ登録用紙を配布し周知する。 月 1 回ホームページにより市民へ周知する。 具体的な支援方法を年度後半に向けて検討する。夏ごろまでは、旧年中の方法を継続する。 時期：5 月ころ登録用紙を禁煙外来へ配布する。 募集は年間を通じて行う。 事業内容を見直し、7 月頃より改変した事業内容で実施する。

Check	モニタリング：禁煙宣言者数を記録していく。 評価指標：禁煙宣言者
モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 菊地 郁子 ）

施 策	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加
事業名	「おたる・ヘルシーメニュー」事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画 (目的 目標)	目的：食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方にもおいしく、エネルギー等を心配せず安心して外食を楽しめる環境を整備する。 目標：食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加 （「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録件数（合計）25 件）
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	市内飲食店などにて（1 食あたり） 「おたる・スーパーヘルシーメニュー」：エネルギー600kcal 食塩相当量 3g 以内のメニューを提供 「おたる・ヘルシーメニュー」：エネルギー600kcal 以内のメニューを提供 「おたる・ヘルシースイーツ」：エネルギー100kcal 以内のスイーツを提供 【平成 29 年度実施計画】 事業周知：「おたる・ヘルシーメニュー」事業について関係団体等の協力を得て 市内飲食店へ周知（市内飲食店へちらしの郵送、市 HP 掲載等） 小樽市食生活展にてパネル展示 登録業務：登録希望店からの献立の栄養価計算実施 市民向け登録店の周知(市 HP、FMおたる、フリーペーパーWa-O！掲載、健康教育にてリーフレット配布等)
Check モニタリング 評価	【モニタリング】 平成 29 年度実施計画に基づき事業周知等を実施したが、登録店増加に結びついていない。 評価： 【評価の視点】 ストラクチャー（構造） 保健所栄養士 1 名で事業周知や栄養計算を実施。 各飲食店へのきめ細やかな対応は難しい状況。 プロセス（過程） 「食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方においしく、エネルギー等を心配せず安心して食べていただくお店を増やす」を目標に設定し、事業周知及

	<p>び登録店のリーフレット等の配布をした。事業周知により反応はあるが、登録には結びついていない。今後の対応を検討する必要がある。</p> <p>アウトプット（事業実施量）</p> <p>① 「おたる・ヘルシーメニュー」事業紹介のリーフレット配布</p> <p>② 「おたる・ヘルシーメニュー」登録店のリーフレット配布</p> <p>アウトカム（結果）</p> <p>達成度：登録店の増加</p> <p>平成 29 年度の新規登録はなかった。</p> <p>平成 29 年度末現在 7 件（6 店舗）</p>
Act 改善	<p>登録件数が伸び悩んでいるので、事業の周知及び登録店 P R の方法については改善が必要である。事業周知により一定程度の反応はあるが、登録までには至らないので、今後は登録に結びつくような支援の検討が必要である。</p>

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 菊地 郁子 ）

施 策	食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加
事業名	「おたる・ヘルシーメニュー」事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>目的：食事療法中の方や、生活習慣病予防に興味のある市民の方にもおいしく、エネルギー等を心配せず安心して外食を楽しめる環境を整備する。</p> <p>目標：食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店などの登録件数の増加 （「おたる・ヘルシーメニュー」事業登録件数（合計）30 件）</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>市内飲食店などにて（1 食あたり）</p> <p>「おたる・スーパーヘルシーメニュー」：エネルギー600kcal 食塩相当量 3g 以内のメニューを提供</p> <p>「おたる・ヘルシーメニュー」：エネルギー600kcal 以内のメニューを提供</p> <p>「おたる・ヘルシースイーツ」：エネルギー100kcal 以内のスイーツを提供</p> <p>【平成 30 年度実施計画】</p> <p>事業周知：「おたる・ヘルシーメニュー」事業について関係団体等の協力を得て、市内飲食店へ周知（市 HP、FM おたる等）</p> <p>小樽市食生活展にてパネル展示</p> <p>登録業務：登録希望店からの献立の栄養価計算の実施</p> <p>市民向け登録店の周知：市 HP、健康教育にて登録店周知のリーフレット等配布</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(菊地 郁子)

施 策	毎日朝食をとる人の増加・家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画 (目的 目標)	目的：市民に朝食の重要性と家族で規則正しい食習慣を実践できるように正しい知識を普及・啓発する。 目標：毎日朝食をとる人の増加、家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加 (正しい食習慣の周知リーフレット配布数：6,000 枚)
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	下記、事業において、リーフレットを配布し、正しい知識の普及を実施する。 【平成 29 年度実施計画】 1 キッズクッキング：対象 幼児・児童と保護者 方法 正しい知識の普及（講話・調理実習） リーフレットを使用し正しい知識の普及 回数 年 4 回（7/25,7/28,1/10,1/16） 2 栄養相談：対象 乳幼児健診時の栄養相談 カンガルークラブ参加者の栄養相談 各種栄養改善事業参加者等の栄養相談 方法 リーフレット（食育だよりなど）を使用し正しい知識の普及 時期 通年
Check モニタリング 評価	【モニタリング】 平成 29 年度実施計画に基づき、普及啓発を実施した。 評価： 【評価の視点】 ストラクチャー（構造） 保健所栄養士 1 名及び嘱託栄養士 2 名による事業参加対象者に周知・普及。 プロセス（過程） 「正しい食習慣をもつ市民を増加する」を目標に設定し、リーフレット等を使用し、知識の普及・啓発を実施した。 参加者へ事業終了後に実施しているアンケート結果から、知識としては理解できているようだが、実践となると難しいようである。今後は実践を継続していけるような支援の方法を検討していきたい。 アウトプット（事業実施量） 上記、事業において正しい食習慣を周知するリーフレットを作成し、配布及び講話等で説明。

	<p>平成 29 年度末現在 リーフレット 7,200 枚配布</p> <p>アウトカム (結果)</p> <p>達成目標：毎日朝食をとる人の増加 家族の誰かと一緒に朝食をとる人の増加</p> <p>市民への普及啓発がどの程度図られたかは、現段階では事業量評価によるしかなく、最終評価の際に認知度を確認する必要がある。</p>
Act 改善	今後も、周知・啓発に力を入れ、これまでどおりの実施を継続する。

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(菊地 郁子)

施 策	毎日朝食をとる人の増加・家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加 (食育)
事業名	栄養改善事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画	目的：市民に朝食の重要性と家族で規則正しい食習慣を実践できるように正しい知識を普及・啓発する。
(目的 目標)	目標：毎日朝食をとる人の増加、家族の誰かと一緒に朝食をとる割合の増加 (正しい食習慣の周知リーフレット配布数：6,000 枚)
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>下記、事業において、リーフレットを配布し、正しい知識の普及を実施する。</p> <p>【平成 30 年度実施計画】</p> <p>1 キッズクッキング：対象 幼児・児童と保護者 方法 正しい知識の普及 (講話・調理実習) リーフレットを使用し正しい知識の普及 回数 年 4 回 (7/31,8/2,1/10,1/18)</p> <p>2 栄養相談：対象 乳幼児健診時の栄養相談 カンガルークラブ参加者の栄養相談 各種栄養改善事業参加者等の栄養相談 方法 リーフレット (食育だよりなど) を使用し正しい知識の普及 時期 通年</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(菊地 郁子)

施 策	「栄養成分表示の店」登録件数の増加（食育）
事業名	「栄養成分表示の店」推進事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画 (目的 目標)	目的：食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食などを利用して食生活全体を管理することが大切になっている。 よりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境を整備する。 目標：「栄養成分表示の店」の登録店の増加
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	【平成 29 年度実施計画】 ① 「栄養成分表示の店」推進事業の周知（市 HP 等） ② 登録業務：登録希望店から提出された届出書・栄養算定表・栄養表示例を確認し、公表（市 HP 掲載、ステッカー発行）
Check モニタリング 評価	【モニタリング】 平成 29 年度実施計画に基づいた実施ができた。 評価： 【評価の視点】 ストラクチャー（構造） 保健所栄養士 1 名にて実施。 プロセス（過程） 「市民の快適な食生活や良好な健康づくりの環境整備ができる」を目標に設定し、登録希望店から、届出書類等の提出後、登録業務を実施した。 アウトプット（事業実施量） 登録店について市 HP、北海道 HP にて紹介 アウトカム（結果） 達成度：登録店の増加 平成 29 年度は 1 件廃止となった。 平成 29 年度末現在 56 件
Act 改善	今後も、これまでどおりの実施を継続する。

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(菊地 郁子)

施 策	「栄養成分表示の店」登録件数の増加（食育）
事業名	「栄養成分表示の店」推進事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画 (目的 目標)	目的：食生活は多様化しており、健康を維持するには、家庭の食事だけではなく上手に外食などを利用して食生活全体を管理することが大切になっている。 よりよい食生活を選択でき、健康管理を行うことができるよう、飲食店などのメニューに「栄養成分表示」をしてもらい、外食利用者が適切な栄養情報を得ることができる環境を整備する。 目標：「栄養成分表示の店」の登録店の増加
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	【平成 30 年度実施計画】 ① 「栄養成分表示の店」推進事業の周知（市 HP 等） ② 登録 業務：登録希望店から提出された届出書・栄養算定表・栄養表示例を確認し、公表（市 HP 掲載、ステッカー発行）
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(菊地 郁子)

施 策	食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加（食育）
事業名	栄養改善事業
事業費	栄養改善対策費
Plan 活動計画 (目的 目標)	目的：市民が自らの食生活を見直すことにつながる正しい知識の普及・啓発。 目標：食事バランスガイドを参考に食事をする市民の増加。 (食事バランスガイド普及のリーフレット配布数：3,000 枚)
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	栄養改善事業全てにおいて、リーフレットを配布し、情報提供及び普及・啓発を実施。 【平成 29 年度実施計画】 情報提供：①特定給食施設・給食施設の栄養管理担当者研修会（10/12,3/13） 普及啓発：②小樽市食生活改善推進員養成講座（6/15,6/29,8/24） ③キッズクッキング（7/25,7/28,1/10,1/16） ④離乳食講習会（5/18,7/20,9/21,11/16,1/18,3/22） ⑤プロから学ぶ食育講座（3/27） ⑥小樽市食生活展（9/14）

	<p>⑦健康教育 ⑧栄養相談</p> <p>* 小樽市食生活展では、来場者を対象に講話を実施（2回）</p>
<p>Check</p> <p>モニタリング 評価</p>	<p>【モニタリング】</p> <p>平成 29 年度実施計画に基づき、普及啓発を実施した。</p> <p>評価：</p> <p>【評価の視点】</p> <p>ストラクチャー（構造）</p> <p>保健所栄養士 1 名及び嘱託栄養士 2 名による栄養改善事業参加対象者に周知・普及。</p> <p>プロセス（過程）</p> <p>「バランスのよい食事をする市民の増加」を目標に設定し、リーフレット等を使用し、自分の適切な量やバランスの良い食事についての知識を普及・啓発した。参加者へ事業終了後に実施しているアンケート結果から、知識としては理解できているようだが、実践・継続となると難しいようである。今後は実践を継続していけるような支援の方法を検討していきたい。</p> <p>アウトプット（事業実施量）</p> <p>上記、栄養改善事業において食事バランスガイド普及リーフレットの配布、説明。 平成 29 年度末現在 リーフレット 5,329 枚配布</p> <p>アウトカム（結果）</p> <p>達成度：食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加 （食事の栄養バランスを意識し、改善しようとする取り組み割合の増加）</p> <p>市民への普及啓発がどの程度図られたかは、現段階では事業量評価によるしかなく、最終評価の際に認知度を確認する必要がある。</p>
<p>Act</p> <p>改善</p>	<p>今後も周知・啓発に力を入れ、これまでどおりの実施を継続する。</p>

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 菊地 郁子 ）

<p>施 策</p>	<p>食事バランスガイドを参考にしたい割合の増加（食育）</p>
<p>事業名</p>	<p>栄養改善事業</p>
<p>事業費</p>	<p>栄養改善対策費</p>
<p>Plan</p> <p>活動計画 （目的 目標）</p>	<p>目的：市民が自らの食生活を見直すことにつながる正しい知識の普及・啓発。 目標：食事バランスガイドを参考に食事をする市民の増加。 生活習慣病予防のために食生活改善を意識している人の割合の増加。 （食事バランスガイド普及のリーフレット配布数：3,000 枚）</p>

Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>栄養改善事業全てにおいてリーフレットを配布し、情報提供及び普及・啓発を実施する。</p> <p>【平成 30 年度実施計画】</p> <p>情報提供：①特定給食施設・給食施設の栄養管理担当者研修会（10/16,3/12）</p> <p>普及啓発：②小樽市食生活改善推進員養成講座（6/12,6/28,8/30）</p> <p>③キッズクッキング（7/31,8/2,1/10,1/18）</p> <p>④離乳食講習会（5/17,7/19,9/27,11/15,1/24,3/14）</p> <p>⑤プロから学ぶ食育講座（未定）</p> <p>⑥小樽市食生活展（9/13）</p> <p>⑦健康教育</p> <p>⑧栄養相談</p>
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策 作成者氏名：（ 山本 直美 ）

施 策	悩みの相談窓口の周知啓発推進
事業名	「こころの健康相談」周知啓発活動
事業費	精神保健対策費、地域自殺対策緊急強化推進事業費
Plan 活動計画 (目的、目標)	<p>目的： 保健所「こころの健康相談」（精神保健福祉相談事業）について、広く市民に周知啓発する。</p> <p>目標： 年度内に市民及び関係機関に対し、事業の啓発用ちらしを 2,500 枚以上配付し、周知を図る。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>〔平成 29 年度実施状況〕</p> <p>1 街頭啓発キャンペーン（上半期 1 回・下半期 1 回）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年 2 回、福祉部障害福祉課と連携して実施（ほほえみフェスタ） ・ちらしを封入したポケットティッシュを配布 <p>2 介護保険施設等（86 か所）へ啓発用ちらしを送付（4 月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域自殺対策事業と併せて実施 <p>3 平成 29 年度 相談援助技術専門研修事業における啓発（年 1 回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の目的、内容、参加対象施設などを検討 <p>4 関係機関（300 か所）へ啓発用ちらしを送付（9 月、3 月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域自殺対策事業と併せて実施 <p>5 通常業務における普及啓発活動（随時）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育における啓発（通年） ・保健所玄関に、ちらしを封入したポケットティッシュを設置（通年） ・FMおたる、広報おたるにおける啓発
<p>Check</p> <p>モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング：</p> <p>計画に沿った実施ができています。</p> <p>評価指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主指標 ころの健康相談の周知と相談機関地域連携を目的とした研修会への参加施設数（平成29年度目標 65施設） ・副指標 ころの健康相談に関する啓発用ちらしの配布数（平成29年度目標 2,500枚） <p>評価：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 街頭啓発キャンペーンの実施（8/25、12/7） <ul style="list-style-type: none"> ・2回実施し、市民2,000人にちらしを配付。 ・ポケットティッシュに入れて配布したこともあり、受け取る市民が多く、市民に対する啓発方法としては有効であると判断される。 2 障害者施設及び介護保険施設へ啓発用ちらしを送付（5/11） <ul style="list-style-type: none"> ・地域自殺対策事業と併せて、79か所へちらしを送付。 ・障害者施設、介護保険施設に対し、自殺予防ところの健康相談に関するちらしを配布することにより、街頭キャンペーン等では周知を図ることができない対象者への啓発を実施することができた。 3 平成29年度 相談援助技術専門研修事業における啓発（10/19） <ul style="list-style-type: none"> ・44施設、63名が参加し、ちらしを88枚配布。 ・市民からの相談を受ける立場にある関係機関への啓発を図ることができた。 ・啓発は計画どおり実施できたが、参加施設数は29年度目標（65施設）を達成することができなかった。 4 関係機関へ啓発用ちらしを送付（9/5、3/6） <ul style="list-style-type: none"> ・地域自殺対策事業と併せて、385か所へちらしを送付。 ・市内公共施設や学校、飲食業の事業に対し、自殺予防ところの健康相談に関するちらしを配布することにより、街頭キャンペーン等では周知を図ることができない対象者への啓発を実施することができた。 5 通常業務における普及啓発活動（随時） <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育における啓発を年5回実施し、参加者162人にちらしを配布。 ・健康教育の場を通じて、「ころの健康相談」の周知が可能となり、ストレスや悩みに関する専門相談窓口としての認識を広めることができた。 ・保健所玄関に、ちらしを封入したポケットティッシュを設置（通年）し、市民に配布（1,000人）。 ・小樽市民生児童委員協議会で682枚、小樽市食生活展で150枚ちらしを配布。 ・FMおたるでの周知（1回）。

	<ul style="list-style-type: none"> ・広報おたるで、こころの健康相談の特集記事を掲載（1回）。 ・FMおたると広報おたるで市民全域に周知啓発を行なうことにより、幅広い市民にストレスや悩みに関する相談窓口としての認識を広めることができた。 <p>事業全体の共通内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各周知啓発活動が直接的にこころの健康相談件数の増加に結びつくものではないが（平成28年度420件、平成29年度559件）、次のとおり一定の効果が得られたと判断する。 ・こころの健康相談のちらし配布数は合計4,546枚となり、年度目標（2,500枚）を上回る結果となった。 ・街頭啓発キャンペーンや広報おたるの記事をきっかけとして、相談に結びついた市民が数名いた。
Act 改善	<p>1 街頭啓発キャンペーンの実施</p> <p>市民に対する啓発としてポケットティッシュを用いることで、市民に興味を持ってもらうことに効果的であるため、今後も実施継続していく。</p> <p>2 介護保険施設等への啓発</p> <p>街頭キャンペーン等では周知を図ることができない対象者への周知を図ることができているため、今後も実施継続していく。</p> <p>3 相談援助技術専門研修事業における啓発</p> <p>啓発は実施できたが、参加施設数の目標を達成することができなかったため、参加者から要望を聞くなどし、研修会の目的、内容など、検討していくことが必要である。</p> <p>4 関係機関への啓発</p> <p>ストレスチェック制度の導入により、一般企業でのメンタルヘルス予防への関心が高まっているので、今後も実施継続していく。</p> <p>5 通常業務における普及啓発活動</p> <p>健康教育、広報おたる、FMおたるにおける啓発は、市民に対する効率的な周知方法であるため、今後も実施継続していく。</p> <p>保健所玄関におけるちらしを封入したポケットティッシュの配布は、市民に興味を持ってもらうことに効果的であるため、今後も実施継続していく。</p>

【平成30年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策 作成者氏名：（ 山本 直美 ）

施 策	悩みの相談窓口の周知啓発推進
事業名	「こころの健康相談」周知啓発活動
事業費	精神保健対策費・地域自殺対策緊急強化推進事業費
Plan 活動計画 (目的)	<p>目的：</p> <p>相談窓口の周知、相談実務者を対象にした研修会を通して相談機関の連携体制強化の拡充などにより、自殺対策を推進する。</p> <p>目標：</p>

目標)	年度内に市民及び関係機関に対し、事業の啓発用ちらしを2,500枚以上配付し、周知を図る。
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	〔平成30年度実施予定計画〕 1 街頭啓発キャンペーン（上半期1回・下半期1回）の実施 ・年2回、福祉部障害福祉課と連携して実施（ほほえみフェスタ） ・ちらしを封入したポケットティッシュを配布 2 介護保険施設等へ啓発用ちらしを送付（4月） ・地域自殺対策事業と併せて実施 3 平成30年度 相談援助技術専門研修事業における啓発（年1回） ・参加者の増加を目指し、講義の内容に反映できるように、研修参加者から事前に要望や日常業務での問題点などを把握する。 4 関係機関へ啓発用ちらしを送付（9月、3月） ・地域自殺対策事業と併せて実施 5 通常業務における普及啓発活動（随時） ・健康教育における啓発（通年） ・保健所玄関に、ちらしを封入したポケットティッシュを設置（通年） ・FMおたる、広報おたるにおける啓発 6 自殺対策計画の策定 ・自殺対策を総合的かつ効果的に推進していくため、自殺対策計画（計画期間平成31～34年）を関係機関と協議して策定
Check モニタリング 評価	

【平成29年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 鎌田 和子 ）

施 策	麻しんワクチン接種の推進
事業名	麻しんワクチンの接種率向上
事業費	感染症予防対策費、予防接種費
Plan 活動計画 (目的目標)	目的：麻しん排除に向け、麻しんワクチン（1期及び2期）の接種率の向上を図る。 目標：麻しんワクチン接種率95%以上（平成34年度目標値）
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	1 対象児への勧奨（啓発、個別案内送付、未接種児への電話勧奨） (1) 第1期対象者 ① こんにちは赤ちゃん訪問時接種勧奨（全戸訪問、通年） ② 乳児健診・相談時等の接種勧奨 ③ 未接種児に電話勧奨（1歳10か月時） (2) 第2期対象者 ① 幼児健診・相談時接種勧奨（通年）

	<p>② 対象児に個別通知（勸奨文書及び予診票）（時期：4月）</p> <p>③ 未接種児に電話勧奨（時期：平成30年2月）</p> <p>④ 未接種児に個別通知（勸奨文書）（時期：平成30年3月）</p> <p>2 関係機関を通じて普及啓発（チラシ、ポスターの配布）</p> <p>保育所・幼稚園（時期：12月）教育委員会（時期：11月就学時健診）子育て支援課（時期：10月ちびっこフェスティバル）</p>															
<p>Check</p> <p>モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング：第1期及び第2期の接種率（毎月）</p> <p>評価指標：MR ワクチン第1期・第2期 接種率 95%以上</p> <p>【評価】</p> <p>① ストラクチャー 総務課予防接種担当、子育てSG、感染症SGで役割分担をして実施</p> <p>② プロセス 計画に基づき予定時期に各担当者が実施。</p> <p>③ アウトプット（平成30年5月10日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者数</th> <th>接種者数</th> <th>接種率</th> <th>※前年度接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>541人</td> <td>494人</td> <td>91.3%</td> <td>96.5%</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>718人</td> <td>670人</td> <td>93.3%</td> <td>95.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ アウトカム 保育所及び幼稚園を通じての啓発は年1回で、昨年度までは夏休み前であったものを今年度は冬休み前に実施したところ、7月の接種率は7.5%から4.3%と低下し、一方12月の接種率は3.5%から6.1%へと上昇した。第2期では、最も接種率が高かったのは期限最終月の3月で15.3%であった。接種可能期間が1年間ということもあり、早めに接種をする意識が保護者には弱いことも考えられる。</p>		対象者数	接種者数	接種率	※前年度接種率	第1期	541人	494人	91.3%	96.5%	第2期	718人	670人	93.3%	95.6%
	対象者数	接種者数	接種率	※前年度接種率												
第1期	541人	494人	91.3%	96.5%												
第2期	718人	670人	93.3%	95.6%												
Act 改善	<p>こまめな啓発は保護者への意識付けに繋がることから、保育所及び幼稚園を通じての啓発回数を年1回から年2回に増加する。また、個別勧奨も継続し、接種率の向上を目指す。</p>															

【平成30年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 鎌田 和子 ）

施策	麻しんワクチン接種の推進
事業名	麻しんワクチンの接種率向上
事業費	感染症予防対策費、予防接種費
Plan 活動計画 (目的目標)	<p>目的：麻しん排除に向け、麻しんワクチン（1期及び2期）の接種率の向上を図る。</p> <p>目標：麻しんワクチン接種率95%以上（平成34年度目標値）</p>

<p>Do 実践 (対象、方法、 時期など)</p>	<p>1 対象児への勧奨（啓発、個別案内送付、未接種児への電話勧奨、） (1) 第1期対象者 ① 赤ちゃん訪問時接種勧奨 (通年) ② 乳児健診・相談時等の接種勧奨 (通年) ③ 未接種児に電話勧奨（1歳10か月時） (通年) (2) 第2期対象者 ① 幼児健診・相談時接種勧奨 (通年) ② 対象児に個別通知（勧奨文書及び予診票） (時期：平成30年4月) ③ 未接種児に電話勧奨 (時期：平成31年2月) ④ 未接種児に個別通知（勧奨文書） (時期：平成31年3月) 2 関係機関を通じて普及啓発（チラシ、ポスターの配布） 保育所・幼稚園（時期：7月・12月） 教育委員会（時期：10月就学時健診） 子育て支援課（時期：10月ちびっこフェスティバル）へ協力依頼。</p>
<p>Check モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング：第1期及び第2期の接種率（毎月） 評価指標：MRワクチン第1期・第2期 接種率 95%以上</p>

【平成29年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 中村 悦子 ）

<p>施 策</p>	<p>効果的な歯磨きの普及</p>
<p>事業名</p>	<p>① 効果的な歯磨きの普及事業</p>
<p>事業費</p>	<p>歯周病対策事業費</p>
<p>Plan 活動計画 (目的目標)</p>	<p>目的：歯周病予防 目標：歯間ブラシ使用者の増加 健康教育などを通じて情報提供するために、イベントなども利用しリーフレットを配布する。</p>
<p>Do 実践 (対象、方法、 時期など)</p>	<p>【平成29年度実施計画】 効果的な歯磨きについて情報提供 ・歯科医院との協働事業として、PMTCを勧めるリーフレットを配布 ・幼児健診の保護者へ向けて、歯間部清掃用具の使用状況を確認することで、歯間部清掃用具の認知度を高める。</p>
<p>Check モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング:効果的な歯磨きのリーフレット配布を記録する。 評価指標：中間評価では、歯間ブラシ使用状況を見る。 ① ストラクチャー 昨年同様、幼児健診での歯間部清掃用具の周知 保健所では関わるのが少ない働き盛りの年代の方（40～50歳代）に情報提供するため、歯科医院の協力を得る事業を継続。</p>

	<p>② プロセス 市内約 6 割の歯科医院から協力を得て、患者を対象にリーフレットを用いてセルフケアとプロフェッショナルケアを勧める。</p> <p>③ アウトプット 歯科医院で患者を対象にリーフレットの説明をした数、1005 件（H29 年度末）</p> <p>④ アウトカム 中間評価アンケート結果によると、セルフケアについては、歯間ブラシを使用する人は 55.8%となり、策定時の 50.0%を 5.8 ポイント上回り改善した。平成 29 年度幼児健診の保護者においては、歯間部清掃用具使用者は、1 歳半健診 51.0%、3 歳児健診 54.9%となっている。 またプロフェッショナルケアを受ける人については、定期的な歯科受診をする人は策定時 34.4%で、中間評価では 39.9%と 5.5 ポイント増加し改善した。</p>
Act 改善	歯間ブラシの使用法などのインターネット上の動画の URL をリーフレットで紹介することで、直接指導ができないことを補う。

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 中村 悦子 ）

施 策	効果的な歯磨きの普及
事業名	② 効果的な歯磨きの普及事業
事業費	歯科保健事業費
Plan 活動計画 (目的目標)	<p>目的：歯周病予防</p> <p>目標：日常的に歯間部清掃用具を使用する人の増加 定期健診やプロフェッショナルケアを受ける人の増加</p> <p>活動計画：幼児の健診の際に、親への情報提供を続ける。 イベント時にリーフレットを配布する。 歯科医院と協働する事業を続ける。</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 歳半や 3 歳児の保護者に対し、歯間部清掃用具の動機付け</p> <p>市民に対し、イベントなどでリーフレット配布</p> <p>歯科医院受診者に対し、リーフレット配布</p>
Check モニタリング 評価	<p>モニタリング：リーフレット配布枚数を記録。 幼児健診で、保護者の歯間部清掃用具使用状況を調査</p> <p>評価指標：リーフレット配布枚数、歯間部清掃用具使用状況</p>

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：（ 中村悦子 ）

施 策	(2) 歯周病セルフチェックの普及
事業名	②歯周病セルフチェックの普及事業
事業費	歯科保健事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	目的：進行した歯周病の減少 目標：歯周病セルフチェックにより、自分の歯肉状態に注目し、必要に応じ歯科受診できるようにする。
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	【平成 29 年度実施計画】 1. 歯周病チェックリストの積極的な配布はせず、必要に応じて配布 対象 健康教育受講者やイベント参加者 方法 他の資料とともに配布
Check モニタリング 評価	モニタリング：継続的にチェックリストの配布数を記録する。 評価指標：チェックリスト配布枚数 配布枚数は 150 枚 (H29 年度末) 評価：【評価の視点】 1. ストラクチャー チェックリストを、子どもを持つ保護者へ向けて配布してきたが、紙媒体のみに限定せず、ホームページ等にも載せた。 2. プロセス 保育施設については、これまで配布を依頼してきたが、セルフチェックリストはずっと同じ内容であることから、毎年配布する必要はないと考え、29 年度は配布を休止。 むし歯予防デーなどのイベントで配布。 3. アウトプット (H29 年度末) チェックリストの積極的な配布はしなかったため、配布枚数 150 枚 (平成 29 年度末) 4. アウトカム 中間評価アンケートの結果、歯周病についての目標 ①40 歳代で進行した歯周病を有する人は、30.9%から 25.9%に減少 ②60 歳で 24 歯以上の歯を持つ人は 39.7%から 47.7%に増加と 平成 34 年度の目標値には届いていない (①は 25.0% ②は 50.0%) が、改善している。
Act 改善	歯周病セルフチェックリストの積極的配布は休止し、時に応じて配布またはホームページ活用する。今後は平成 28 年度より歯周病対策として行なっている歯科医院との協働事業や、効果的な歯磨きを進める事業で歯周病予防を進める。

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(中村悦子)

施 策	(2) 歯周病セルフチェックの普及
事業名	②歯周病セルフチェックの普及事業
事業費	歯科保健事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	
Check モニタリング 評価	

【平成 29 年度報告】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者：(藤川泰恵) H30.5.9 現在

施 策	むし歯の無い3歳児を増やす(80%以上)														
事業名	(3) 子供のむし歯予防対策事業														
事業費	歯科保健事業費														
Plan 活動計画 (目的目標)	<p>目的：乳歯列完成期(3~4歳)のむし歯の無い子供を増やす 目標：むし歯の無い3歳児を80%以上にする(策定時69.8%)(↓3年間平均値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>むし歯なし</td> <td>76.2%</td> <td>79.3%</td> <td>79.0%</td> <td>80.6%</td> <td>81.0%</td> <td>82.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	むし歯なし	76.2%	79.3%	79.0%	80.6%	81.0%	82.3%
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29									
むし歯なし	76.2%	79.3%	79.0%	80.6%	81.0%	82.3%									
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児の割合を40%以上に維持するため、あらゆる歯科口腔保健事業の場でフッ化物歯面塗布の必要性和効果について情報提供を行う。</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A型(上前歯あるいは奥歯のみのむし歯)が他都市に比べて高い罹患率であるため、上の前歯のむし歯に着目し、予防対策を実施する。</p>														

<p>Check</p> <p>モニタリング</p> <p>評価</p>	<p>モニタリング：</p> <p>①②それぞれの現状値については、3歳児健康診査受診時に随時把握</p> <p>【評価の視点】</p> <p>1. ストラクチャー</p> <p>スタッフの人数⇒職員2名（歯科医師、歯科衛生士）、嘱託3名（歯科衛生士）</p> <p>他機関との連携⇒福祉部こども育成課・子育て支援団体等・児童福祉施設</p> <p>2. プロセス</p> <p>1歳6か月児健康診査時のリスク診断に基づき、その場でフロッシング指導を実施し、1年半後の3歳児歯科健康診査の受診結果により効果判定する。</p> <p>判定結果を1歳6か月児健康診査時の取組にフィードバックし、目標達成を計る。</p> <p>3. アウトプット</p> <p>①の具体的取組</p> <p>ア. 母子健康手帳への次期来所予定月のお知らせ 実績 1,077人</p> <p>イ. 塗布回数とむし歯減少についてのリーフレットを配布 実績 2,197枚</p> <p>②の具体的取組</p> <p>ア. 1歳6か月児健康診査時のフロッシング指導数 実績 192人</p> <p>イ. 口腔ケアについてのリーフレットを配布 実績 6,695枚</p> <p>4. アウトカム</p> <p>評価指標：むし歯のない3歳児を80%以上にするために</p> <p>① 3回以上のフッ化物歯面塗布経験児の増加⇒40%以上を維持 (策定時 27.4%) 実績 41.1%</p> <p>② 上の前歯のみのむし歯⇒7%以下にする (策定時 13.8%) 実績 8.4%</p>
<p>Act</p> <p>改善</p>	<p>中間評価で目標値を達成したので、新たな目標値を設定する。むし歯のない3歳児を80%以上から85%以上に5ポイント引き上げる。</p> <p>新たな目標：むし歯のない3歳児を85%以上にする</p>

【平成30年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者：(藤川泰恵)

<p>施策</p>	<p>むし歯の無い3歳児を増やす(85%以上)</p>
<p>事業名</p>	<p>(3) 子供のむし歯予防対策事業</p>
<p>事業費</p>	<p>歯科保健事業費</p>
<p>Plan</p> <p>活動計画</p> <p>(目的目標)</p>	<p>目的：乳歯列完成期(3~4歳)のむし歯の無い子供を増やす</p> <p>目標：むし歯の無い3歳児を85%以上にする(策定時 69.8%)</p>

<p>Do 実践 (対象、方法、 時期など)</p>	<p>① 3歳児健康診査までに3回以上のフッ化物歯面塗布経験児の割合を40%以上に維持するため、あらゆる歯科口腔保健事業の場でフッ化物歯面塗布の必要性和効果について情報提供を行う。</p> <p>② 小樽の子供のむし歯の罹患型において、A型（上前歯あるいは上下の奥歯のみのむし歯）に着目し、上の前歯のむし歯予防対策を実施する。</p>
<p>Check モニタリング 評価</p>	<p>モニタリング： 上記①②それぞれの現状値については、3歳児健康診査受診時に随時把握</p> <p>評価： 1. ストラクチャー スタッフの人数⇒職員2名（歯科医師、歯科衛生士）、嘱託3名（歯科衛生士） 他機関との連携⇒福祉部子育て支援課・子育て支援団体等・児童福祉施設</p> <p>2. プロセス 1歳6か月健康診査時のリスク診断に基づき、その場でフロッシング指導を実施し、1年半後の3歳児歯科健康診査の受診結果により効果判定する。 判定結果を1歳6か月児健康診査時の取組にフィードバックし、目標達成を計る。</p> <p>3. アウトプット ①の具体的取組 ア. 母子健康手帳への次期来所予定月のお知らせ（見込み1,000人） イ. 塗布回数とむし歯減少についてのリーフレットを配布（見込み2,000枚）</p> <p>②の具体的取組 ア. 1歳6か月及び3歳児健康診査時のフロッシング指導数（見込み190人） イ. 口腔ケアについてのリーフレットを配布（見込み6,000枚）</p>

【平成29年度報告】

小樽市健康増進計画 次世代の健康づくり（子育て支援SG） 作成者氏名：（ 須摩 敦子 ）

<p>施策</p>	<p>思春期健康教育の推進</p>
<p>事業名</p>	<p>思春期健康教育事業</p>
<p>事業費</p>	<p>母子保健事業費</p>
<p>Plan 活動計画 (目的 目標)</p>	<p>目的：思春期における児童、生徒が、健康や性行動、性感染症などについての正しい知識を身につけることができるよう健康教育を実施するとともに、関係機関との連携を強化する。</p> <p>目標：エイズ、妊娠、避妊について正しい知識を有することができる。</p>

Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 市内小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIV を始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施。</p> <p>2 思春期健康教育の推進、健康教育の活用について、小・中・高等学校へ周知文を発送。 (小中学校へは校長会を通じて、高等学校へは直接文書発送)</p>
Check モニタリング 評価	<p>モニタリング：依頼のあった学校に出向いており、実施数は前年度とほぼ同様。</p> <p>評価：</p> <p>1 小・中・高等学校への健康教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全実施数 24回 (高校4、中学校3、小学校17) ・性・エイズ (再掲) 16回 (高校4、中学校3、小学校9) ・たばこ・薬物 (再掲) 5回 (小学校5) ・参加人数 1,715人 <p>2 思春期健康教育の推進、健康教育の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中校長会を通じて周知文発送 (H29.9月) ・市内高等学校へ周知文発送 (//)
Act 改善	<p>小・中・高等学校に対する事業周知を継続し、依頼のあった学校に出向き、健康教育を実施していく。</p> <p>実施後にアンケート調査を組み入れ、理解度、目的の達成、改善点を明らかにし講話内容の質の向上に努める。</p>

【平成30年度計画】

小樽市健康増進計画 次世代の健康づくり (子育て支援SG) 作成者氏名：(須摩 敦子)

施 策	思春期健康教育の推進
事業名	思春期健康教育事業
事業費	母子保健事業費
Plan 活動計画 (目的 目標)	<p>目的：思春期における児童、生徒が、健康や性行動、性感染症などについての正しい知識を身につけることができるよう健康教育を実施するとともに、関係機関との連携を強化する。</p> <p>目標：エイズ、妊娠、避妊について正しい知識を有することができる。</p> <p>未成年者の喫煙をなくす</p> <p>未成年者の飲酒をなくす</p>
Do 実践 (対象、方法、 時期など)	<p>1 市内小・中・高等学校に出向き、望まない妊娠、HIV を始めとした性感染症予防、飲酒、喫煙等についての健康教育を実施</p> <p>2 思春期教育の推進、健康教育の活用について小・中・高等学校に対して周知を実施</p> <p>3 健康教育の質の向上を目指し、アンケート調査の実施</p>
Check モニタリング 評価	

Act 改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新規団体の拡大も含め、小樽市健康づくり推進ネットワーク会議の活動内容と合わせ、対象者について検討していく。 ・各サブグループで健康教育をはじめ新規の団体に関わる機会がある場合は周知を積極的に行うとともに、同じ団体でも、受講者が違う場合など周知漏れがないように留意する。
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【平成 30 年度計画】

小樽市健康増進計画施策に基づく具体的方策

作成者氏名：(木村 理永)

施 策	第 2 次健康おたる 21 普及啓発活動
事業名	第 2 次健康おたる 21 普及啓発活動
事業費	健康増進計画事業費
Plan 活動計画 (目的目標)	<p>【平成 30 年度実施予定計画】</p> <p>1 各分野における健康教育等を活用し、新たな団体等に対して重点的に普及啓発を図る。(到達度 3,000 人)</p> <p>2 計画概要版の増刷 (到達度 2,000 枚)</p>
Do 実践 (対象、方法、時期など)	各分野における健康教育等を実施する際に、あわせて本計画について参加対象者に周知を行う。
Check モニタリング 評価	<p>【モニタリング】</p> <p>平成 30 年度実施団体とそれ以前の実施団体を突合し評価</p> <p>【評価の視点】</p> <p>① ストラクチャー (構造)</p> <p>健康増進課職員による健康教育実施の機会に合わせて参加対象者に周知</p> <p>② プロセス (過程)</p> <p>小樽市健康づくり推進ネットワーク会議委員との協働により、普及啓発を図る。</p> <p>③ アウトプット (事業実施量)</p> <p>計画 1 : 健康教育等の実施と合わせて計画の趣旨、概要について周知を実施</p> <p>計画 2 : 計画概要版の増刷</p> <p>計画 3 : 小樽市健康づくり推進ネットワーク会議委員と協力し、健康情報の発信・普及として、「おたる健康づくり通信」を発行する。</p>

前期計画策定シート(平成25年～29年度)

領域	番号	事業名・取組内容	評価指標 ※複数の場合は行の挿入をお願いします。	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
				目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等	目標値	実績	達成状況等
(1)がん・循環器疾患・糖尿病領域	1	地域連携によるがん検診普及啓発推進事業	がん検診受診率の向上	胃がん10%	7.3%	未達成	胃がん20%	7.0%	未達成	胃がん30%	7.0%	未達成	胃がん40%	6.3%	未達成	胃がん40%		未確定
				肺がん10%	10.1%	達成	肺がん20%	9.6%	未達成	肺がん30%	9.7%	未達成	肺がん40%	8.9%	未達成	肺がん40%		未確定
				大腸がん10%	18.2%	達成	大腸がん20%	17.9%	未達成	大腸がん30%	19.4%	未達成	大腸がん40%	16.0%	未達成	大腸がん40%		未確定
				乳がん20%	28.5%	達成	乳がん30%	27.5%	未達成	乳がん40%	28.6%	未達成	乳がん50%	27.0%	未達成	乳がん50%		未確定
				子宮頸がん20%	34.7%	達成	子宮頸がん30%	32.2%	達成	子宮頸がん40%	30.1%	未達成	子宮頸がん50%	26.3%	未達成	子宮頸がん50%		未確定
	2	地域連携による特定健康診査・特定保健指導の普及啓発事業	特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上	特定健診20%	13.5%	未達成	特定健診30%	14.7%	未達成	特定健診40%	15.1%	未達成	特定健診50%	15.3%	未達成	特定健診60%		未確定
				特定保健指導20%	12.6%	未達成	特定保健指導30%	16.5%	未達成	特定保健指導40%	14.8%	未達成	特定保健指導50%	11.80%	未達成	特定保健指導60%		未確定
	3	血圧自己測定推進事業	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	1,000人	1,545人	達成	1,000人	953人	未達成	1,000人	1,489人	達成	1,000人	1,716人	達成	1,000人	1,765人	達成
	4	ウォーキング推進事業 ※事業終期は、サポーター養成100人を達成する平成28年度とする	ウォーキングサポーター養成数(累計)	40人	45人	達成	63人	52人	未達成	81人	54人	未達成	100人	58人	未達成	100人	67人	未達成
			市民への健康教育事業等での普及啓発数(自主活動支援)														3,000人	1,163人
5	おいしい空気の施設推進	登録施設数	100件	78件	未達成	150件	105件	未達成	200件	128件	未達成	250件	140件	未達成	300件	172件	未達成	
6	禁煙宣言プロジェクト	禁煙宣言者数	50人	13人	未達成	50人	7人	未達成	50人	12人	未達成	50人	53人	達成	50人	46人	未達成	
7	「おたる・ヘルシーメニュー」事業	登録件数	5件	5件	達成	10件	4件	未達成	15件	5件	未達成	20件	7件	未達成	25件	7件	未達成	
8	「毎日朝食をとる」、「家族の誰かと朝食をとる」	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,000枚	達成	6,000枚	6,862枚	達成	6,000枚	7,438枚	達成	6,000枚	7,200枚	達成	
9	食事バランスガイドの活用推進	市民や関係団体への啓発リーフレットの配布数	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,000枚	達成	3,000枚	3,048枚	達成	3,000枚	5,473枚	達成	3,000枚	5,329枚	達成	
10	栄養成分表示の店推進	登録件数	56件	56件	達成	56件	57件	達成	56件	57件	達成	56件	57件	達成	56件	56件	達成	
(2)精神保健領域	11	悩みの相談窓口の周知啓発の推進	(主指標)相談機関地域連携体制への参加施設数	40施設	46施設	達成	50施設	46施設	未達成	55施設	49施設	未達成	60施設	54施設	未達成	65施設	44施設	未達成
			(副指標)「こころの健康相談」啓発用チラシ配付数	2,500枚	2,500枚	達成	2,500枚	3,686枚	達成	2,500枚	4,070枚	達成	2,500枚	3,847枚	達成	2,500枚	4,546枚	達成
(3)感染症領域	12	麻しんワクチンの接種率向上に係る取組について	MRワクチン接種率(95%以上)	MR第1期95%以上	87.9%	未達成	MR第1期95%以上	95.6%	達成	MR第1期95%以上	91.0%	未達成	MR第1期95%以上	96.5%	達成	MR第1期95%以上	91.3%	未達成
				MR第2期95%以上	94.4%	未達成	MR第2期95%以上	94.4%	未達成	MR第2期95%以上	94.70%	未達成	MR第2期95%以上	95.6%	達成	MR第2期95%以上	93.3%	未達成
(4)口腔保健領域	13	効果的な歯磨きの指導	リーフレット配布枚数	1,000枚	2,000枚	達成	2,000枚	2,644枚	達成	3,000枚	4,182枚	達成	2,000枚	2,178枚	達成	2,000枚	493枚	未達成
	14	歯周病セルフチェック事業	セルフチェック配布枚数	4,000枚	4,500枚	達成	2,000枚	2,644枚	達成	3,000枚	4,182枚	達成	2,000枚	2,178枚	達成	2,000枚	150枚	未達成
	15	子供のむし歯予防対策事業	むし歯の無い3歳児を増やす(80%以上)	80%	79.3%	未達成	80%	79.0%	未達成	80%	80.6%	達成	80%	81.0%	達成	80%	82.3%	達成
(5)次世代の健康づくり	16	思春期の健康教育推進	思春期健康教育実施学校数	32校	32校	達成	増加	42校	達成	増加	39校	未達成	増加	26校	未達成	増加	24校	未達成
(6)第2次健康おたる21普及啓発活動	17	第2次健康おたる21普及啓発活動	市民や関係者への健康教育等での普及啓発数	3,000人	3,034人	達成	3,000人	2,144人	未達成	3,000人	2,162人	未達成	3,000人	1,117人	未達成	3,000人	1,229人	未達成
	18	チャレンジ健康クイズ事業	市民への健康情報提供数	500人	487人	未達成	500人	1,254人	達成	1,000人	1,516人	達成	500人			500人		
年度別目標達成状況				達成率 88.9% (16施策/18施策)			達成率 55.6% (10施策/18施策)			達成率 50.0% (9施策/18施策)			達成率 64.7% (11施策/17施策)			達成率 37.5% (6施策/16施策)未確定を除く		